



梅田 利和(うめだとしかず)議員

「子どものむし歯予防対策推進事業」について

一問一答



動画でチェック

◆フッ化物洗口のむし歯予防効果と必要性

Q フッ化物洗口した場合、むし歯が少ないとされているが。

A フッ化物洗口は、およそ4歳から中学校卒業まで継続することが推奨されており、その期間実施した場合、していない場合と比べると56・3%の予防効果があったと報告されている。また、県によると乳幼児健診を受診した母親についても、フッ化物洗口を一度もしたことのない人と比べ、その期間実施した人はむし歯が大幅に少なく、失った歯の本数も少ないと報告されている。

Q こども園におけるフッ化物洗口の普及は検討しているか。

A 来年度からこども園等での導入を検討しているが費用面の問題や保護者の理解が懸念されており、それらを検証した上で、まずは公立こども園と希望する私立のこども園にて普及を図っていき

Q こども園での普及が広がれば、小中学校まで拡大する計画は。

A 実施の際には児童等の個々の体質を考慮することや安全性について本人や保護者に具体的な説明の上、同意を得て行うことが大切だと考えており、今後、歯科医師会など関係者と協議の場を持ちながら様々な視点から研究を進めていきたい。

Q 専門家である歯科医師会の協力をいただきながら普及することでの将来的な健康寿命の延伸が期待されるが。

A 健康長寿・フレイル予防のために重要な3つの柱として「栄養(食と口腔機能)」「身体活動(運動)」「社会参加」が提唱されており、歯と口腔機能の健康は、生きていく上で大切な役割を担っていると考えている。幼少期から口腔ケアの体制を整えることで市民の口腔の健康保持・増進を図り、健康寿命の延伸につなげていくとともに家庭での理解と協力を求めながら普及を図っていききたい。



宮西 健吉(みやにしけんきち)議員

板津校下に児童・運動公園を

一問一答



動画でチェック

◆板津校下に児童公園又は運動公園を

Q 市民センターの概要について。

A 昭和59年5月に開館。集会施設、スポーツ施設、老人福祉施設、児童センターを有する複合施設である。

Q 北部児童センターの利用者数は。

A コロナ禍前のR元年度は4万8,701人。1日平均158人。

Q はつらつセンターの利用者数は。

A コロナ禍前のR元年度は1万8,404人で1日平均59名。

Q テニスコートの利用者数は。その内、中学生の利用者数は。

A R元年度は利用者数1,885名、うち中学生以下は742名。

Q テニスコートにクラックが入っているのでは。

A 使用に支障はないが、全コート内にクラックが生じている。

Q テニスコートを駐車場に整備。市民センターの南口を再整備することにより、はつらつセンター、北部児童センターの利用者数のアップにつながる。そこで板津地区体育館に隣接した場所に児童公園又は運動公園を設置しては。

A 板津地区体育館に隣接した場所が、利用者に魅力的で利便性の高い場所となるため、周辺の環境向上が必要。区域との調和を考えた公園の適地を検討していく。

◆明峰駅西側地区の宅地開発に

Q 本市の考え方、思いは。

A Rいしかわ移管後の駅の利用者を増加させる取組として、明峰駅など駅周辺地域に居住し、働く場所の整備が必要。市街化区域への変更等課題はあるが、宅地開発、産業開発、体育施設等駅周辺での実現について検討していく。議員にも御協力いただき地元の機運を盛り上げ、地域住民と協議し、構想をつくり、可能性を検討していきたい。



表 靖二(おもてやすじ)議員

一問一答

栗津駅自由通路等の完成の見込みについて



動画でチェック

◆栗津駅周辺について

Q 栗津駅に関して、橋上自由通路及び駅西広場の完成については、いつ頃となる見込みか問う。

A 今年度基本設計、令和6年度春にI-Rいしかわへ移管予定、令和7年度に工事着手し、令和8年度末完成に向け、計画整備を進めている。



令和8年度末に完成予定の栗津駅舎

Q 先般実施された駅東のラウンドアバウトの実証実験について。そのアンケート結果について問う。また、今後のラウンドアバウト整備についての予定を問う。

A アンケート結果では、6割の方が安全に感じたという結果であった。今年度中に実験の効果検証、令和5年度に改修の計画策定、令和7年度末に、

工事完成・供用開始を目指し進めていく。

◆栗津温泉周辺の道路整備について

Q 栗津温泉地区・校下は、温泉旅館の減少と共に、人口は10年間で約3,500人から約3千人に減少し、都市計画道路「島栗津線」は、永らく一部整備の状態となっている。社会资本整備を充実させ住環境の向上が必要と考えるが、見解を問う。また、一般の市道・水路等の整備についても市街化区域として対応して整備が必要と思うが見解を問う。

A 近年地域の優先度が変化しており、栗津地区も、通学路の安全対策のため、市道戸津井口線の側溝改良による路肩幅を優先的に実施している。今後は温泉街のにぎわい創出のため、栗津温泉地区の住民主体のまちづくりを支援していきたい。また、整備等について今後とも地域の御要望を踏まえ協議、検討していく。

予算決算常任委員会総括質疑

令和4年度12月補正予算

◆会派自民



竹田良平 委員



動画でチェック

◆企業誘致推進費

Q 企業誘致・起業支援・リモートワークの出来る環境の整備。これら3点を進めることが大事かと思うが、女性や若者の働く先の確保にはどう取り組むか。

A この3点は我々自身も同じ思いです。今年度、安宅新の産業団地の次の産業団地候補について適地調査を進めている。

◆観光交流センター運営準備費

Q 小松駅高架下の観光交流センターはどのような展示となるか。また、今回名称決定に際して市民投票が行われたが、市民の意向はどう反映していくか。

A 八日市地方遺跡の実物展示コーナーや大型LEDビジョンで本市歴史の情報発信等を行う。ご意見箱等を設置し、市民の声を聞くことが

できる体制をとっていききたい。



新田寛之 委員



動画でチェック

◆九龍橋川排水機場4号ポンプ増設費

Q 増設するポンプについて。

A 毎秒4.03m³の排水能力があり、令和6年度までの整備を予定している。

◆浸水対策事業費(石橋川排水区)

Q 整備内容について。

A 令和6年度までに導水路と遊水地を整備する。導水路の整備延長は650mで、幅9.4m、深さ90cmとなる。遊水地の面積は4.3ha、貯留量は4万3千400m³だが、将来的には17.5ha、6万3千m³までを計画している。

Q 今後、このような遊水地や排水機場、水利施設の整備計画はあるか。

A 雨水排水計画の検討結果に基づき検討していきたい。

Q 梯川水系緊急治水対策プロジェクトの内容について。

A 国、県、市が連携し、令和13年度までに集中して対策を実施することにより、令和4年8月豪雨と同規模の洪水であっても、氾濫を防止し浸水被害の軽減を図る取組。

Q 梯川逆水門のゲート高不足解消の内容について。

A 前川の水位を下げるため、前川排水機場から梯川へ排水しているが、梯川の水位が上がると梯川逆水門のゲートから水が前川側へこぼれるようになる。そうすると、前川排水機場のポンプを動かしても前川の水位が下がらない。これがゲート高不足ということになる。ゲートを2・6m上げることににより、梯川の水が前川にこぼれてくるのを遅らせることにつながる。



ゲート高不足解消が計画される梯川逆水門

A 3月の襲名披露巡業開催に伴う負担金、お練り開催にかかる経費、PR費など。

Q 市川團十郎さんの小松市での定期公演化に向けて市長の思いは。

A 県と市が連携することで実現できるのではないかと考えており、鋭意取り組んでまいりたい。

Q これまでの本市と先代の團十郎市川家の交流について。

A 勸進帳小松800年祭開催をきっかけに市民交流として始まり今年で36年目を迎える。昭和63年には成松会が結成され、成田屋と小松市をつなぐ重要な窓口として支えていただいている。

Q これまでの市川家との交流が今日本の歌舞伎文化の振興に大きく寄与している。そこで、これから本市と市川家がどのように関わっていくかが、20年後、30年後、新たに進化した形で本市の歌舞伎文化を花開かせる大きな原動力となり得ると考える。この点、市長の考えは。

A 先代の團十郎丈に感謝しながら、13代市川團十郎丈と市川翠扇さんとこれからの新しい交流を築いていき、またさらに若い世代へと、関係をより強く、長く続いていけるようにしたい。

◆浸水対策費

Q 8月4日の大雨災害を境に治水対策の考え方は大きく変化した

と考えている。また、梯川下流部、漁港の周辺の浸水被害は相当のタイムラグがあったが、今後の対策は。

A 漁港周辺の排水機場は、県宮のかんがい排水事業として整備されたもの。当時から比べ、住宅地が増えたことにより内水として影響を受けていることも事実だと考えているので、今後県と協議し、どういう形で整備していくか検討していきたい。

◆無会派◆



木下裕介 委員



動画でチェック

◆サテライトオフィス立地推進費について

Q 市40%、県10%の50%助成だが、条件により県の対象経費とならないケースも考えられる。県の助成対象から外れた場合でも、市独自で50%にできないか。

A 今後、県の助成対象にならない場合の助成率の高上げを検討していく。

◆送迎用バス安全装置導入費

Q 事故を受けての対応は。



橋本米子 委員



動画でチェック

A こども園等に注意喚起したほかチェック体制の点検や実地調査を実施した。

Q バスの見落としを防止する装備内容と義務化はいつからか。

A 座席確認ブザーやセンサー等で、次の4月より施行予定。

Q 今回の事故を教訓として、保育士の安全に対する取組は。

A 園等に必要な情報を発信するとともに連絡を密にして安全対策を徹底していきたい。



片山瞬次郎 委員



動画でチェック

◆幸八幡線整備費

Q 県道大野八幡線の連結は。

A 県道はつけ替えし、幸八幡線に接続して国道8号につながるルートに切り替わる。

Q 憩いの森からの市道八幡温泉若杉線との交差の安全対策は。

A もともと勾配のある坂道であるため、交差点の手前に勾配の緩い区間を設け、スリップ対策も検討している。

◆自民党こまつ◆



円地仁志 委員



動画でチェック

◆歌舞伎のまちこまつ推進費

Q 事業内容は。

常任委員会 審査報告

予算決算

委員長 高野 哲郎
副委員長 川崎 順次
全議員所属

議案第71号 令和4年度小松市一般会計補正予算(第8号)について

■新型コロナウイルス感染症経済対策費(20,000千円)

12月27日までの「泊まるっ!こまつ宿泊応援割」に対応するため、増額補正するものです。積極的な利用促進を図るよう求める意見がありました。

■原油価格高騰対策事業者支援費(220,000千円)

電気・ガス等のエネルギー価格高騰の影響を大きく受ける市内事業者への支援費です。支援額が前年同期比で3万円を超える事業所が対象で上限額は30万円です。事業所間で不公平感が出ないよう、丁寧な説明を求めるとともに柔軟に対応するよう求める意見がありました。

■農業者物価高騰対策支援費(24,000千円)

農業肥料価格高騰に対する農業者への支援費です。小松市に住所を有し、国の肥料価格高騰対策事業対象者に補助されます。物価上昇の影響を緩和し、事業継続支援につなげていくとのこと

議案第72号 令和4年度小松市一般会計補正予算(第9号)について

■一般会計における職員人件費(15,056千円)

支給見込みと実績の差に加え、人事院勧告による月例給の引き上げ、一般職の勤勉手当の引き上げ等にかかる費用です。業務に対し職員数が足りていないのではないかと危惧する意見や、職員を増やすことも含め思い切った改革を望む意見がありました。

■戸籍情報管理システム運営費(5,700千円)

戸籍法改正に伴い、国と地方自治体のシステムを連携するための費用です。連携により、市民・職員双方の事務手続きが軽減されます。情報管理について、運用の際にはより一層注意しながら行っていくという意見がありました。

■おなかの赤ちゃん給付金費・生まれた赤ちゃん給付金費(99,500千円)

妊娠から出産・子育てまでの相談支援と経済支援を一体として実施するものです。子供一人当たりの給付金は妊娠届出時に5万円、出生届出後に5万円、令和4年4月以降の出産に遡って支援します。市独自の5万円は継続して給付し、合計15万円が給付されるということです。

■小学校施設維持管理費(58,700千円)、中学校施設維持管理費(37,600千円)

小中学校の電気料・ガス料の高騰による不足額を補正するものです。

LED化されていない学校は、電気料高騰対策としても、早期のLED化を求めました。

■歌舞伎のまちこまつ推進費(11,000千円)

十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業及びお練り実施に係る費用です。お練りの詳細は検討中とのことですが、お練りを間近で見学できるようにコースなどに工夫を求める意見がありました。また、「歌舞伎のまちこまつ」の全国発信を求めました。

■体育施設整備費(1,000千円)

市内スポーツ施設の最適化に向けた改修計画策定に係る調査費です。熱中症対策をはじめとする安全安心への取組、老朽化への対応等、施設の機能アップに向けた調査を行うものです。冷暖房導入等についても調査研究するよう求めるとともに、計画策定に期待する意見がありました。

■企業誘致推進費(37,000千円)、サテライトオフィス立地推進費(20,000千円)

企業誘致推進費は、市内製造業企業2社の工場増設に、サテライトオフィス立地推進費は、東京に本社がある企業2社の市内オフィス設置に伴うもので、交付予定に合わせ増額補正するものです。

■小松加賀斎場運営費負担金(1,957千円)、小松加賀衛生センター運営費負担金(1,790千円)

電力量料金の改定に伴い、小松加賀斎場で1.3倍、小松加賀衛生センターで1.4倍の値上げを見込み、増額補正するものです。電気料金は厳

しい状況が続くことが予想されるので、引き続き適切な対応を求める意見がありました。

議案第77号 令和4年度小松市下水道事業会計補正予算(第3号)について

■浸水対策事業費(148,000千円)

「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」のうち、市の取り組みである内水対策の「石橋川遊水地への導水路工事」と「九龍橋川雨水ポンプ増設工事」に係る工事費等です。令和4年8月豪雨と同規模の洪水に対しての氾濫を防止し、浸水被害の軽減を図ることです。

議案第78号 令和4年度小松市国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第1号)について

人事院勧告に基づき、初任給及び若年層の俸給月額を引き上げ、勤勉手当を0.10か月分引き上げるため、増額補正するものです。

議案第81号 小松市社会福祉基金条例の一部を改正する条例について

昭和60年10月開設の小松サン・アビリティーズの改修を計画的に進めるにあたり、再編関連訓練移転等交付金を活用するための条例改正です。使途目的を明確にした適正な基金運用の徹底を望む意見がありました。